

近未来—
再犯率の高さや
被害者感情の考慮
などの理由により
犯罪者は人権を
失っていた

中でも重犯罪者は
国の所有物、奴隷
として生涯奉仕労働
し続けなければ
ならなかった

しかし、自らの欲望を
満たすために
この制度を利用する
権力者もいた

そんな権力者達が
作りだした制度

M・A・I・D・S
システム



これは女性犯罪者を
権力者や貴族の
メイド奴隷として
奉仕させるという
制度で

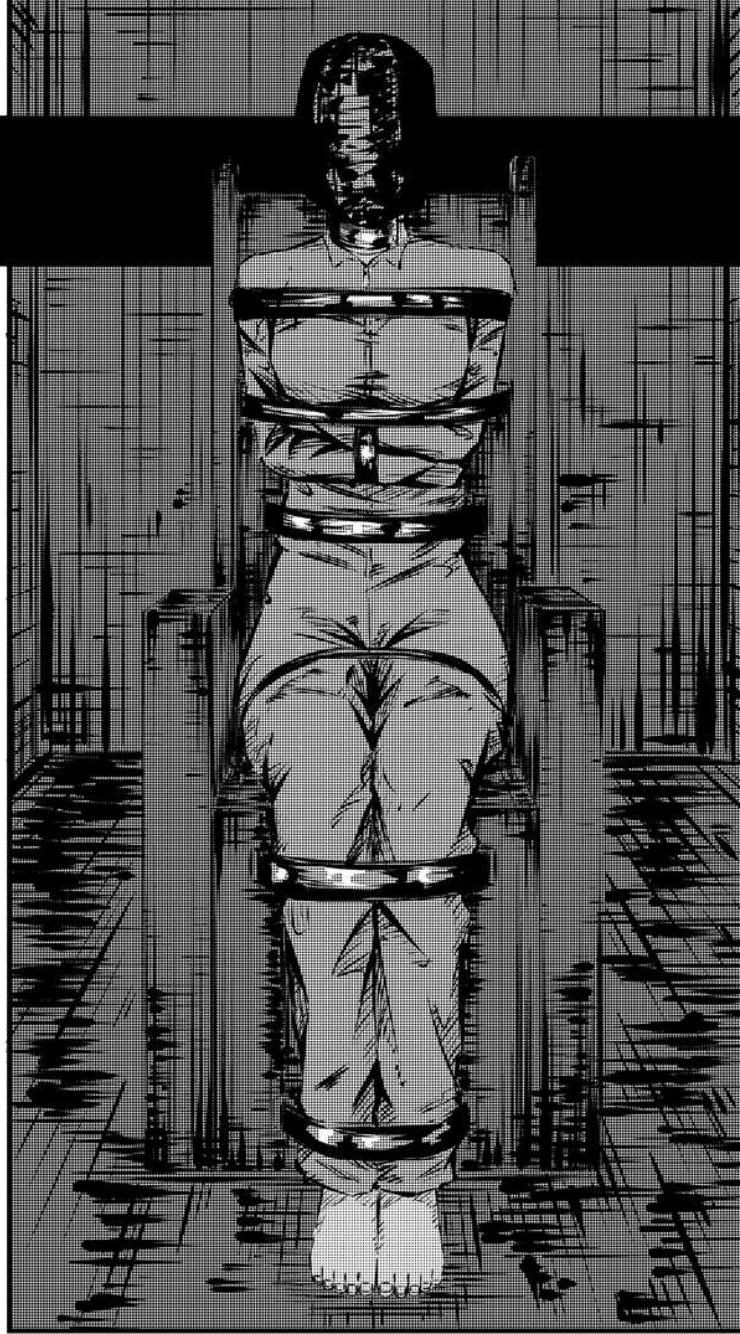
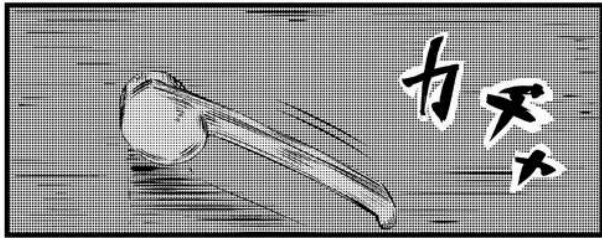
その奉仕内容は
一般的な雑務から
人権を無視した
ものまで多岐に
及んだ



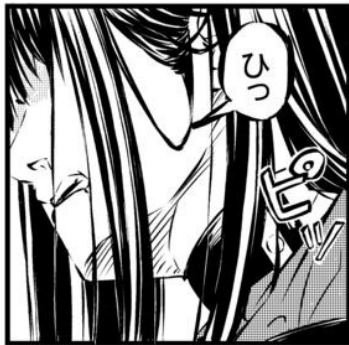
そしてまた一人
奴隷に墮とされる
憐れな女がいた





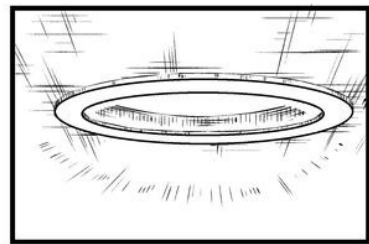
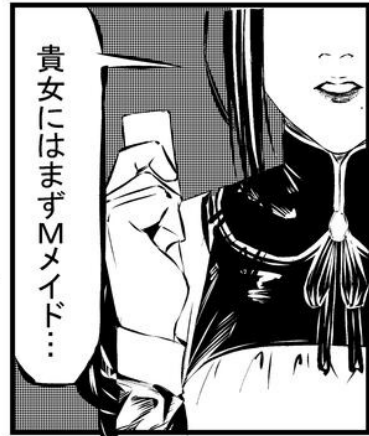








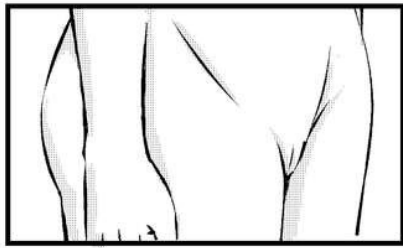
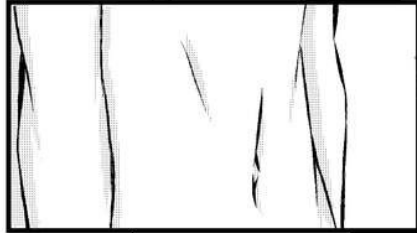
ミニオンメイドとして
働いてもらいます



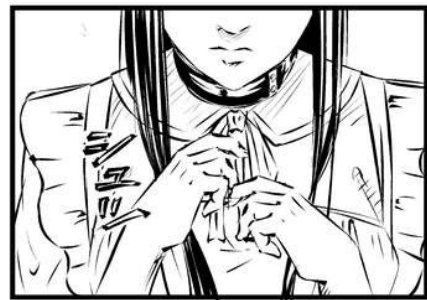
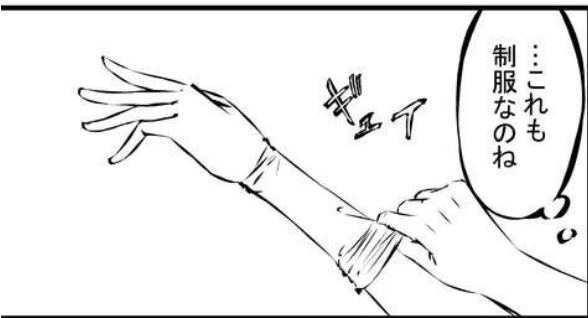
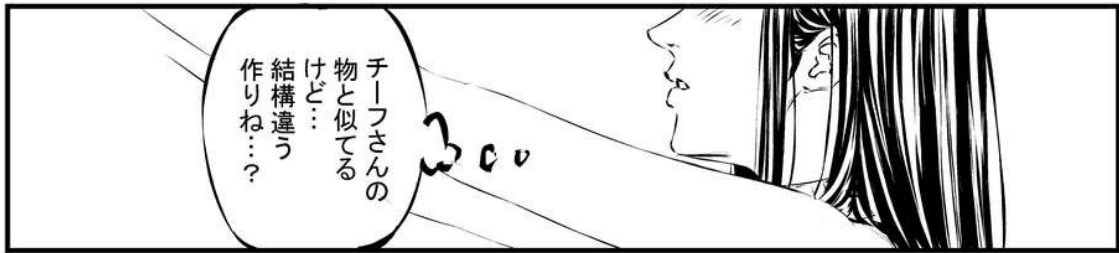
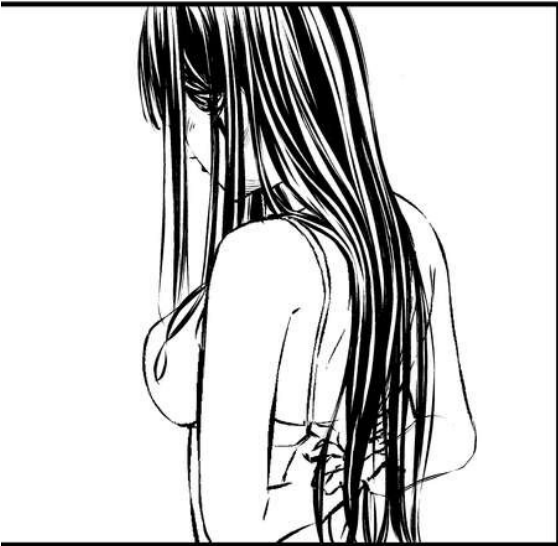
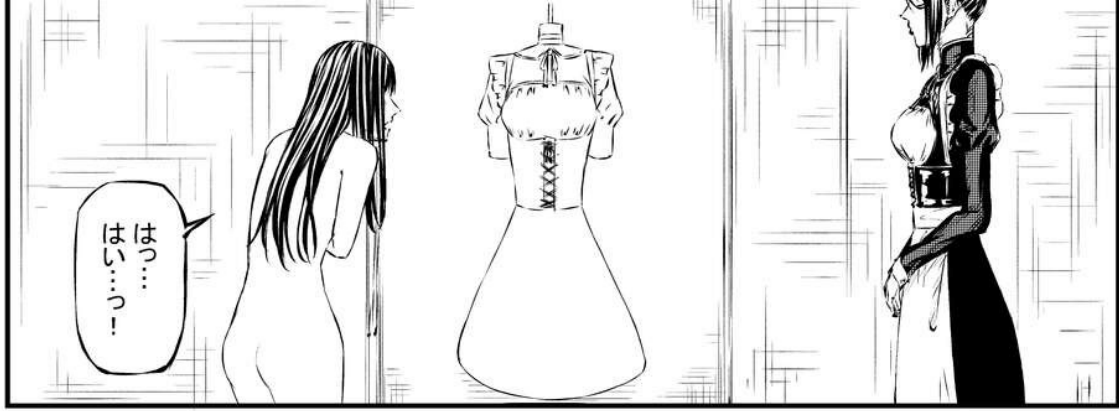


はっ...
はっ...
はっ...

一度身体チェック
を行います
気を付けの姿勢
を取りなさい



いいでしょう
制服を身に
付けなさい





足を揃え、背筋を伸ばして、
手はお腹の前で組みなさい

それがメイドの
基本姿勢です
何も指示がない時は
その姿勢で待機して
次の指示を待ちなさい



は、はいっ



ブクッ！



返事は不要です
聞いていなければ
罰を与える
だけの話です

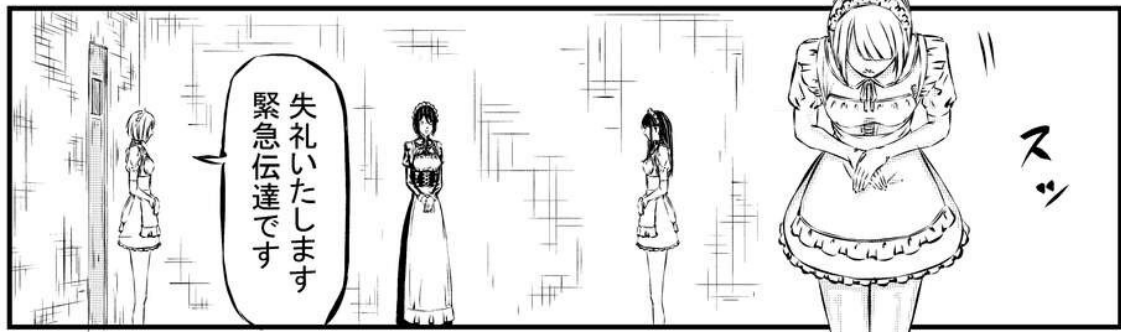


これより貴女は
この館のメイドという
『所有物』です
人権はなく
自由はありません
誠心誠意
主に仕えなさい



まずは貴女が
組み込まれる
『M.A.I.D.S』システム
についての説明を行います

一度で全てを
覚えなくても
構いませんが
最低限これだけは
覚えておきなさい



失礼いたします
緊急伝達です



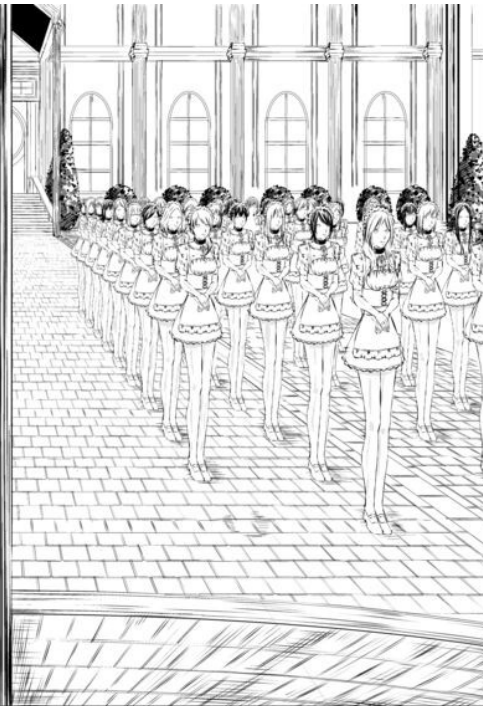
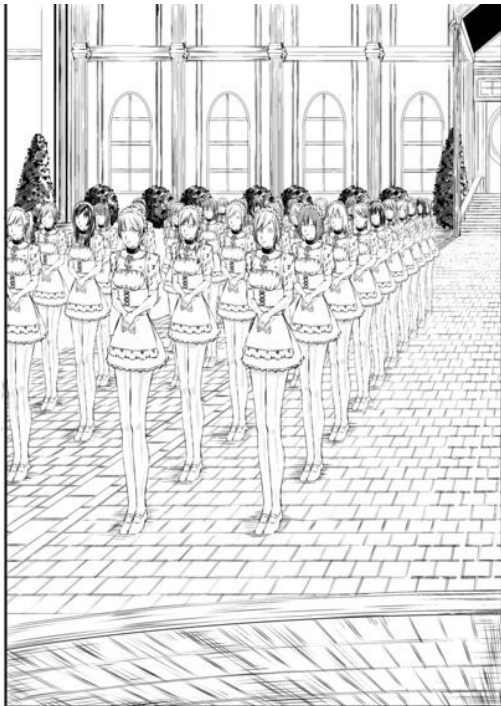
わかりました
では、少し予定を
繰り上げて
始めましょう
指示通りに
しなさい

なんだろう…
何か、トラブルでも
起きたのかな？

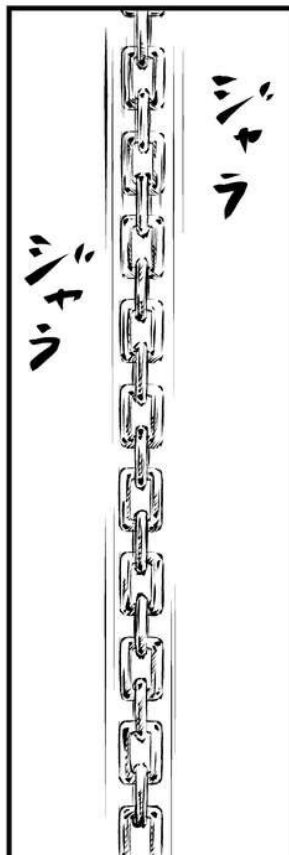
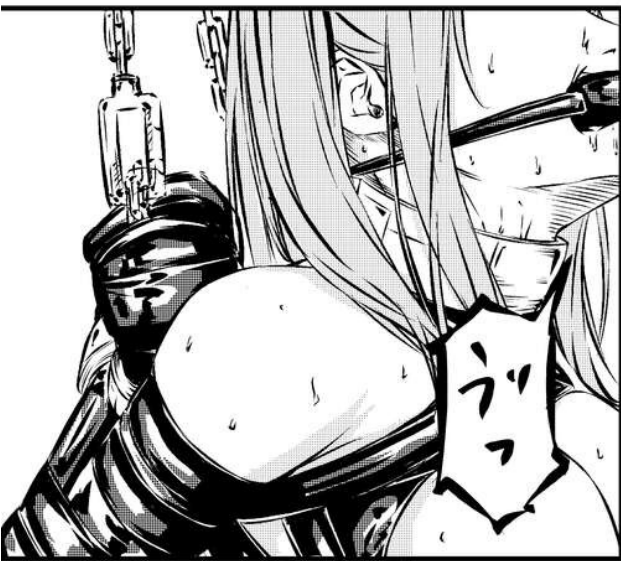
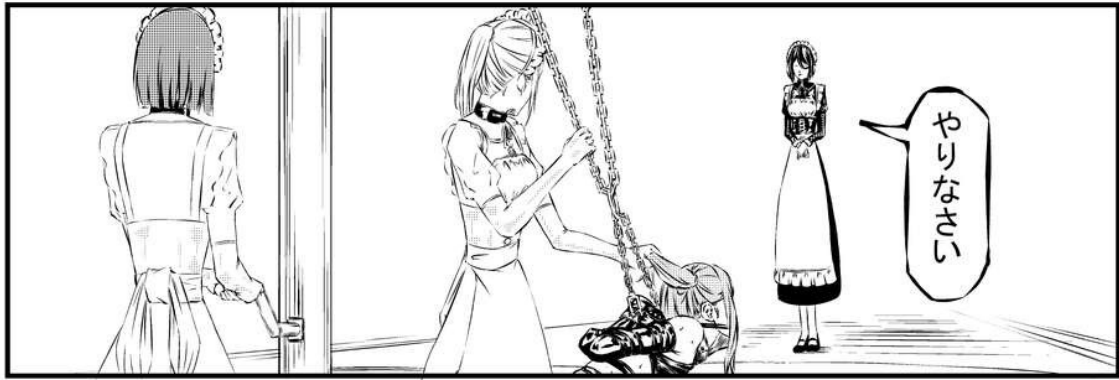
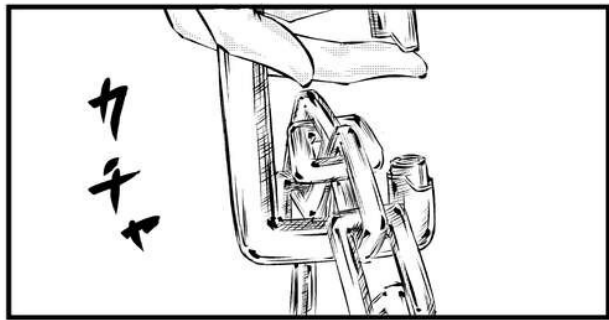


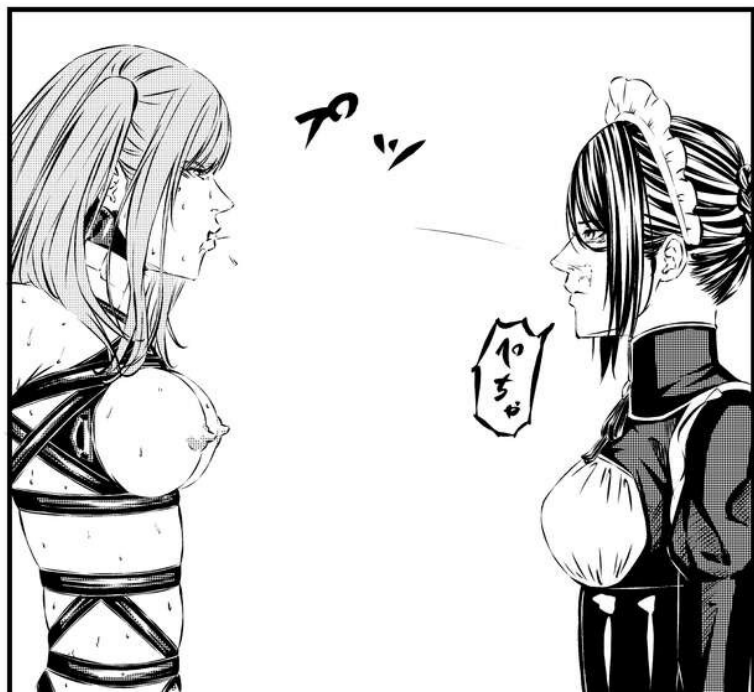
私に着いてきなさい

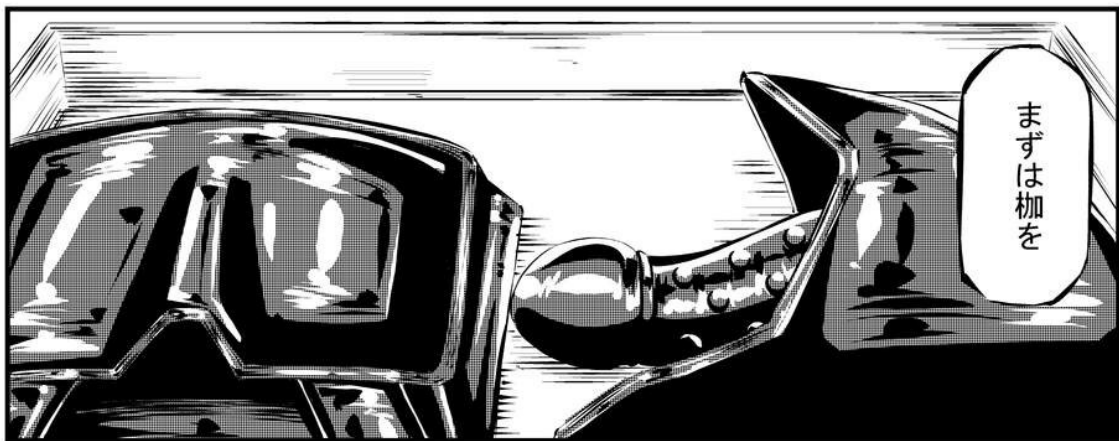


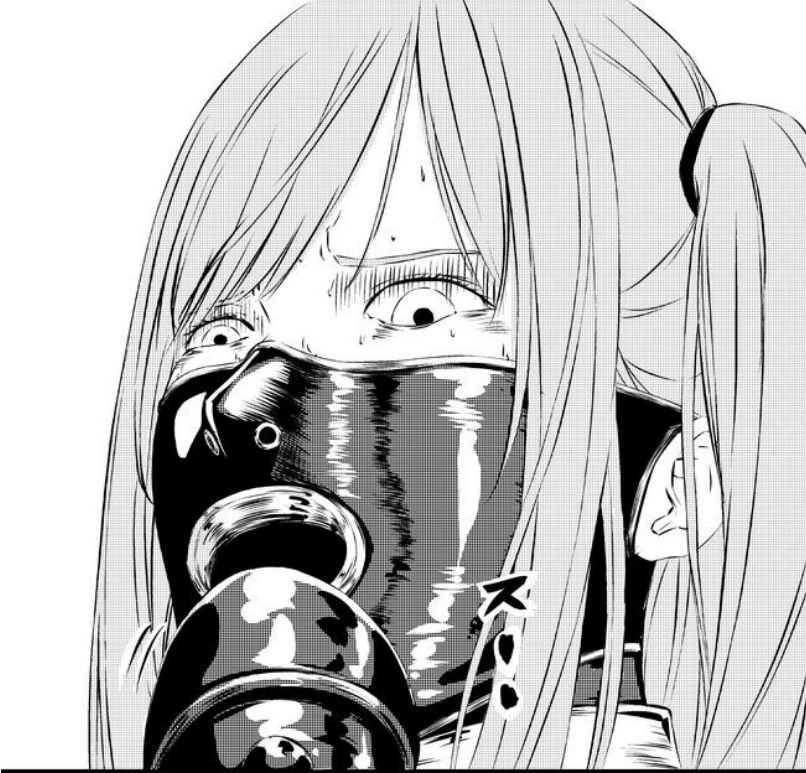


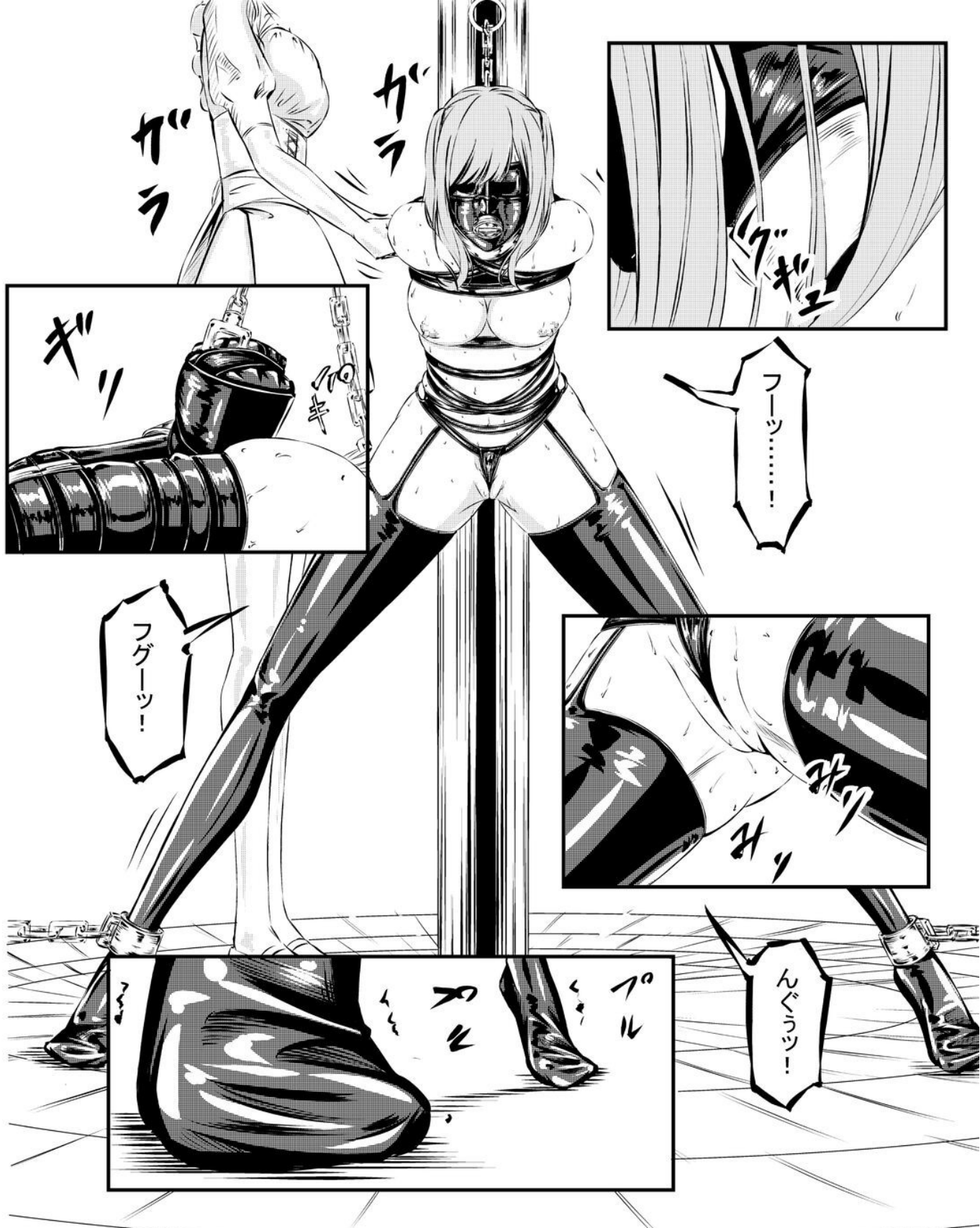


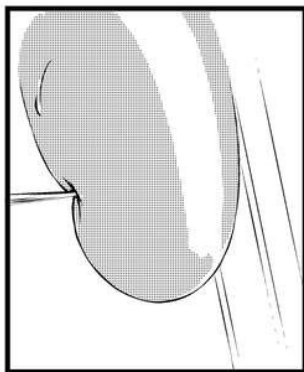




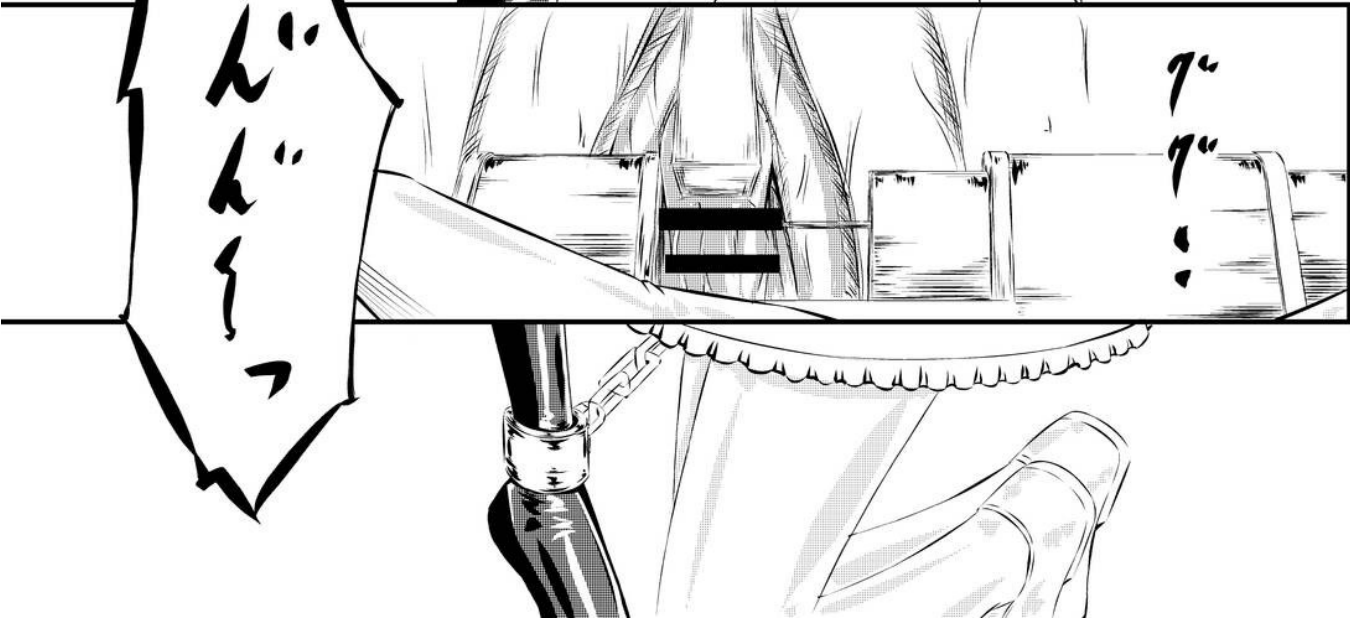


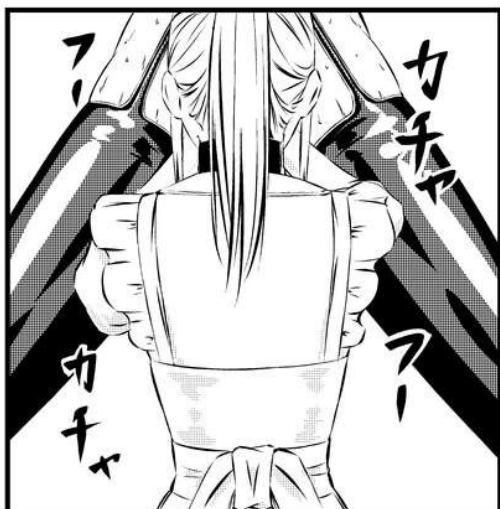


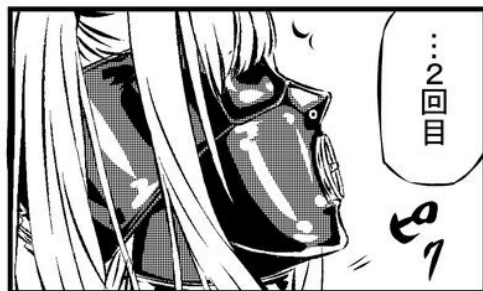
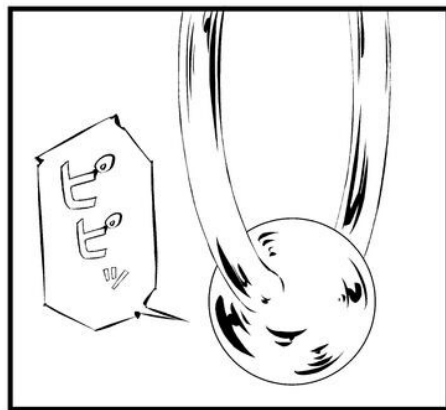
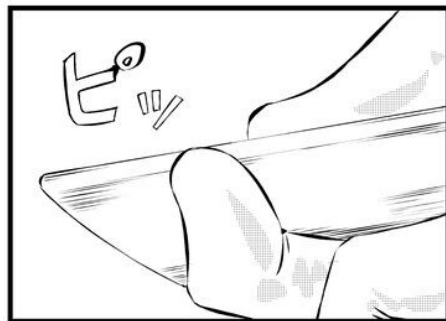


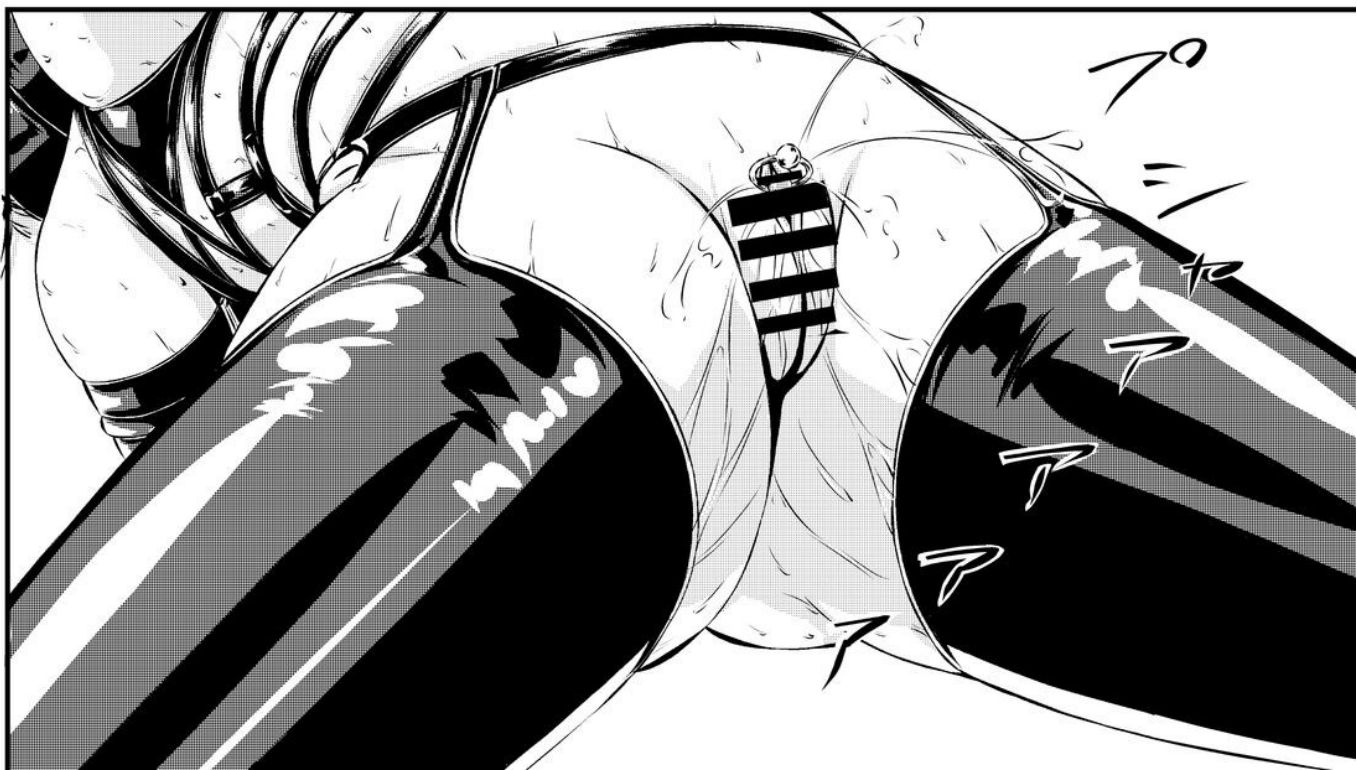


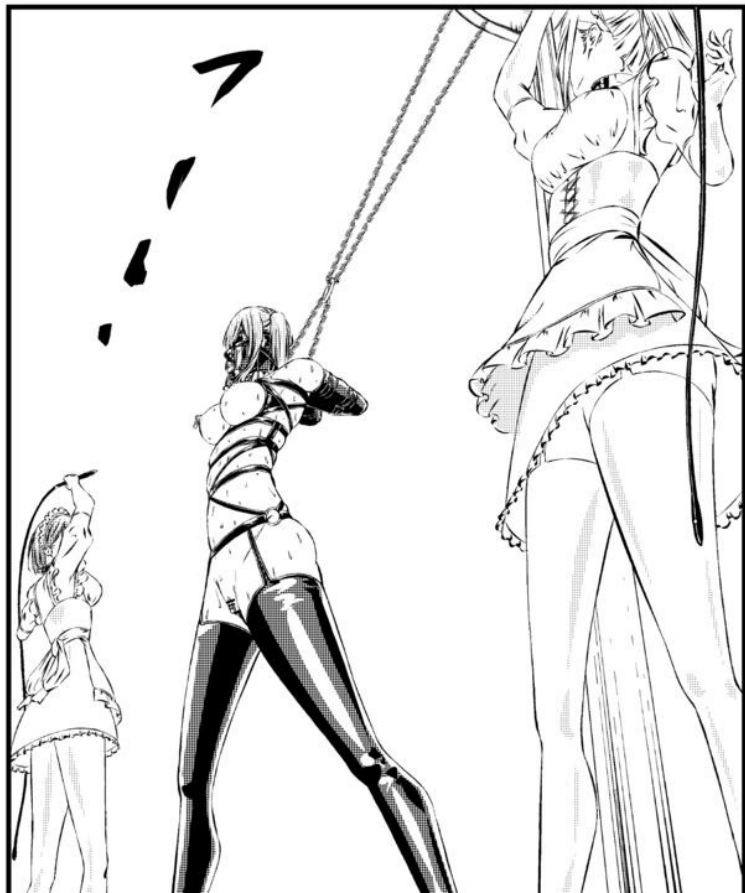
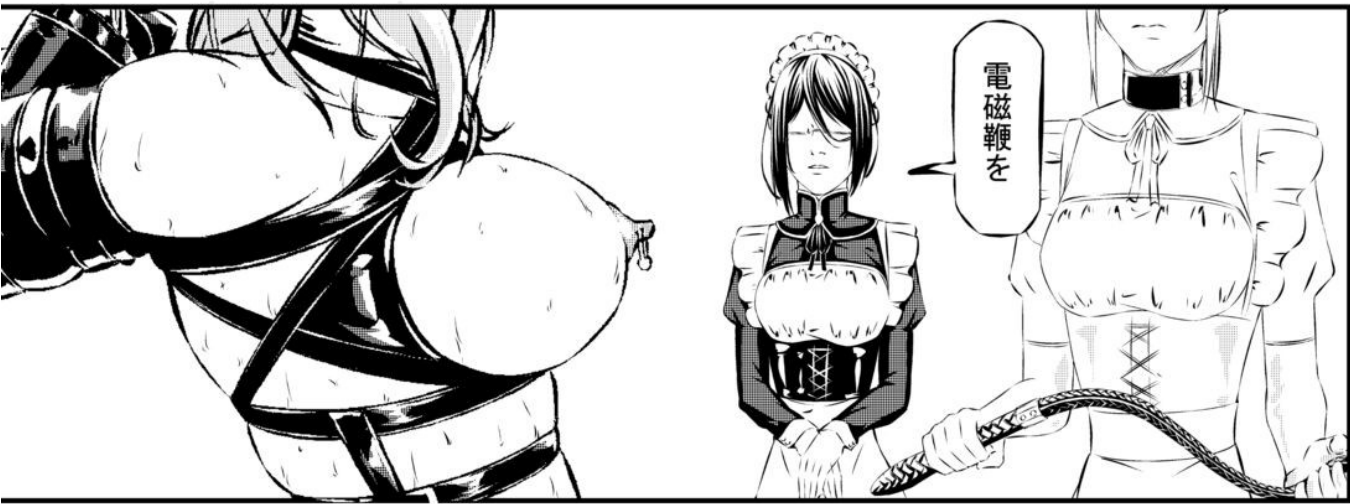
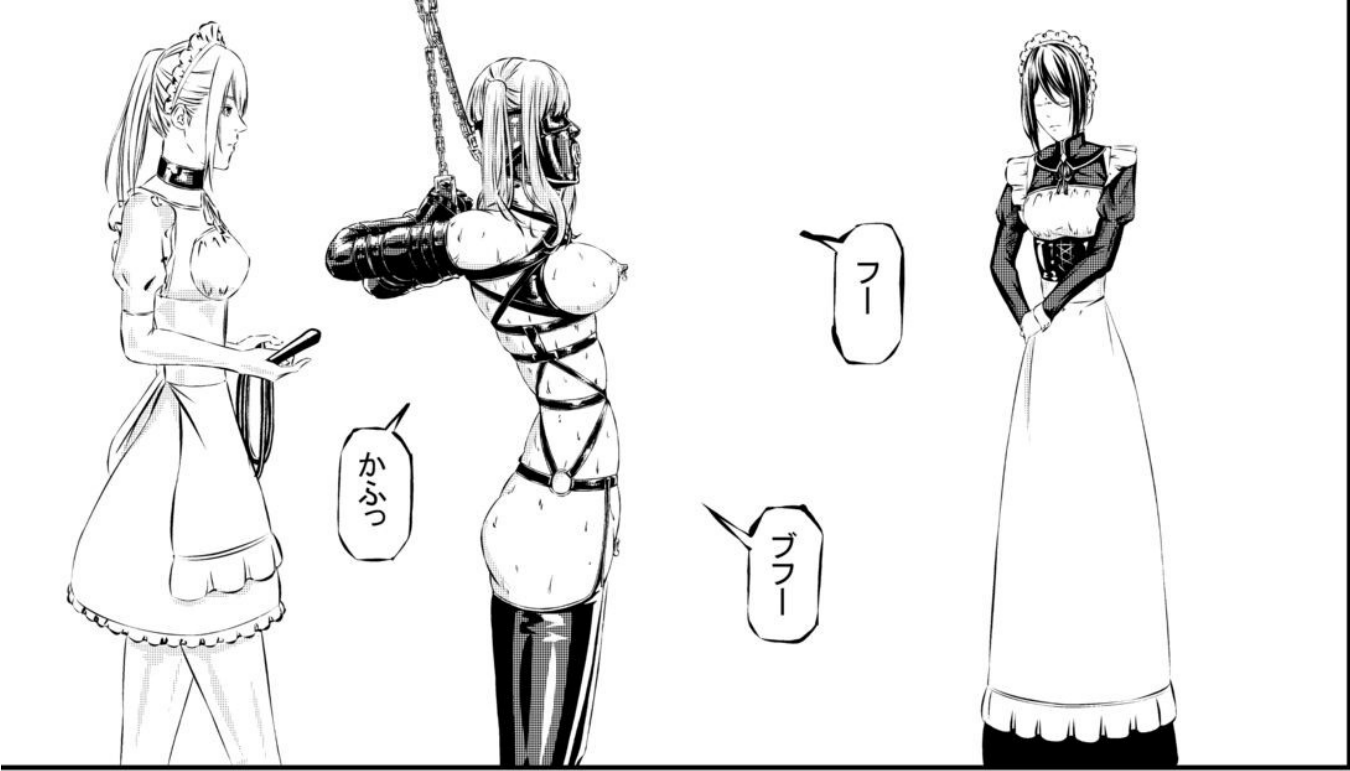


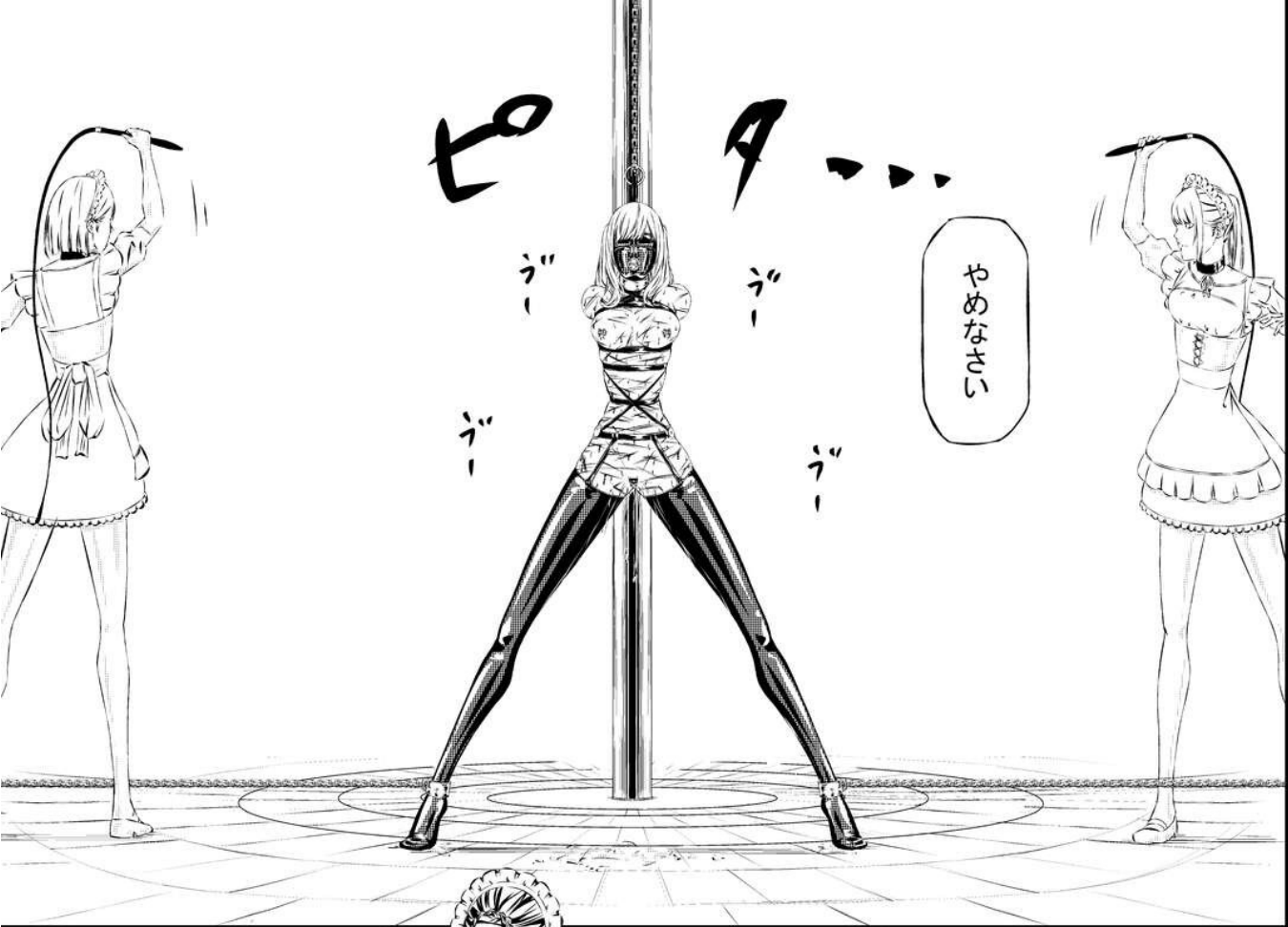


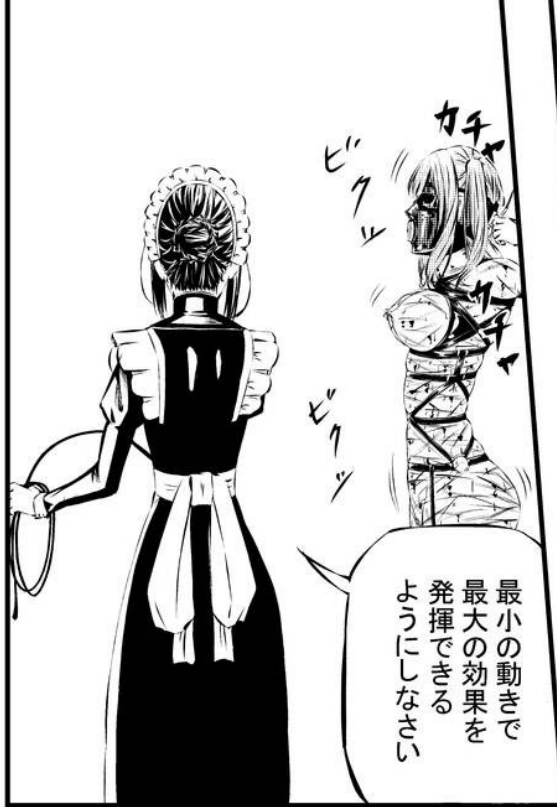










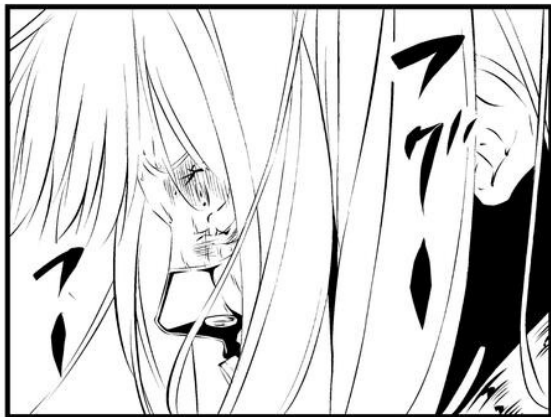
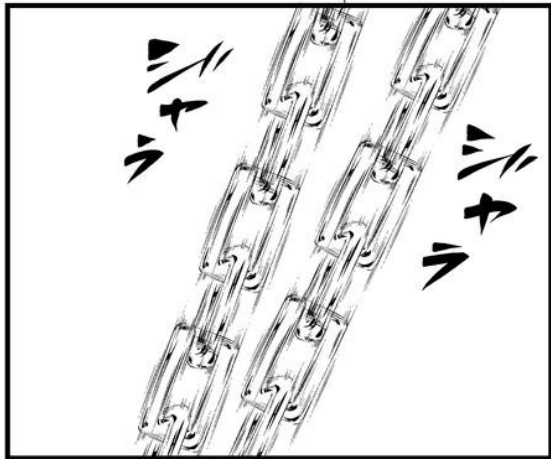


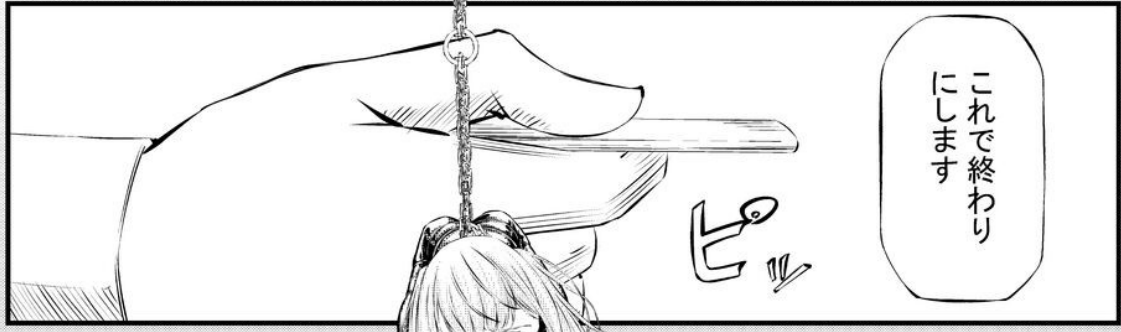
最小の動きで
最大の効果を
発揮できる
ようにしなさい



鞭の扱いは
サポートメイド
として押さえて
おかなければ
ならない技術の
一つですからね







これで終わり
にします







ぐっ
ぐっ
ぐっ

ピ
チ
ャ



う
え、
ええ
えッ

ピ
チ
ャ



え……？

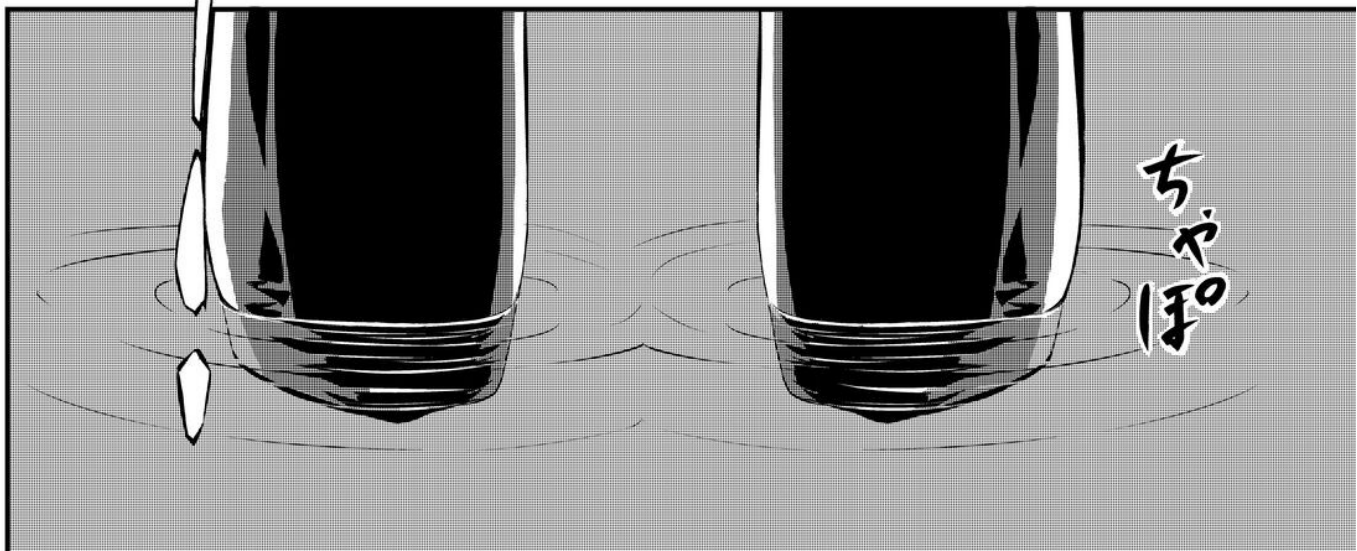
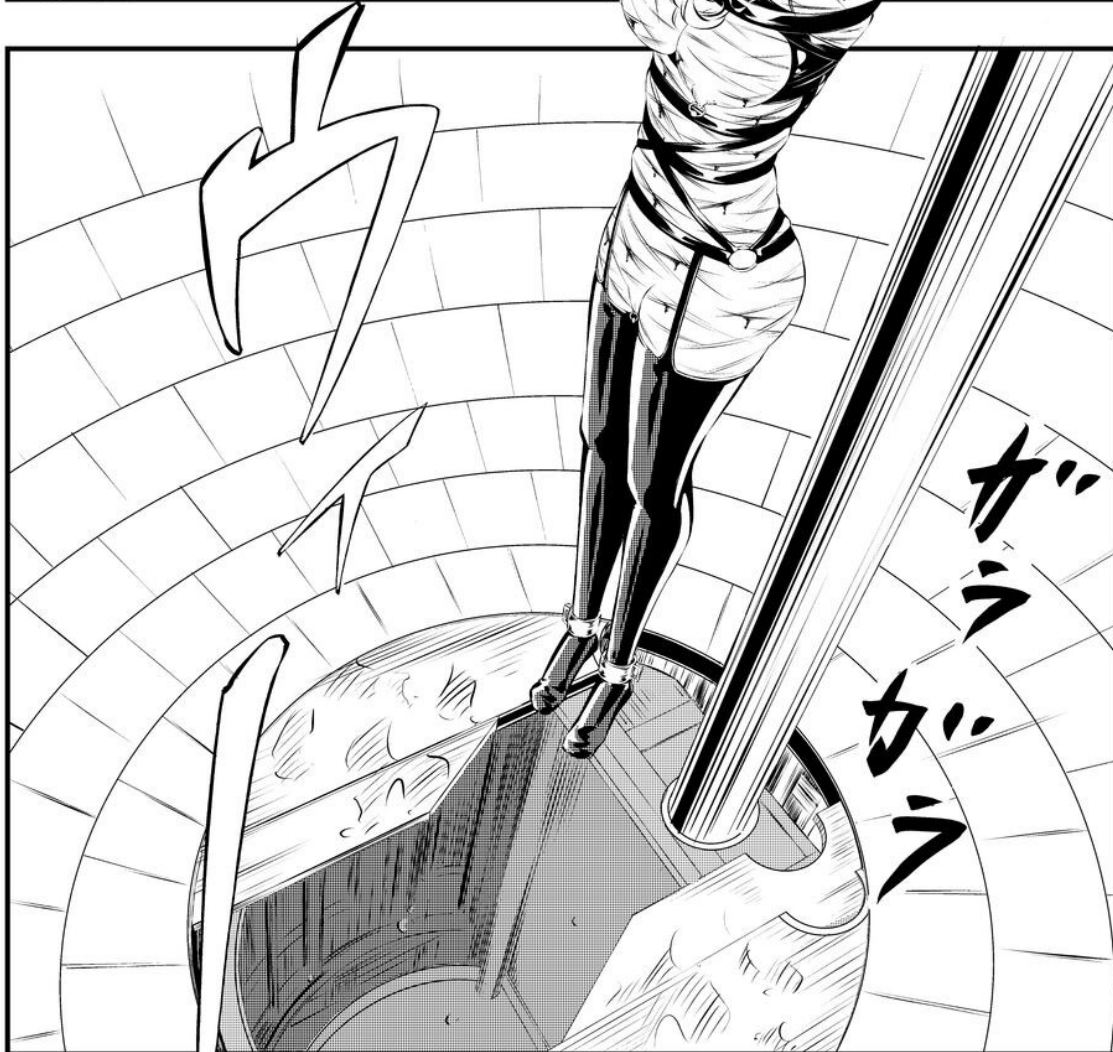


本当に……本当に
私は……ッ
いつ殺されても
おかしく
ないんだ……！

立ちなさい

まだ処分は
終わって
いませんよ







処刑された…いえ
解雇されたメイドの体は
特殊な用途を含む
何らかの有益な
実験のために販売されます

保管容器に詰めた後
溶液に浸し極低温で
保管されます

